



2024年5月13日

各 位

会社名 株式会社データ・アプリケーション
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 武志
(コード番号：3848)

問合せ先 取締役常務執行役員経営企画管理本部長 金子 貴昭
(電話：03-6370-0909)

中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）策定のお知らせ

～個人と組織がともに成長し続ける DIGITAL WORK を実現～

株式会社データ・アプリケーション(本社：東京都中央区、代表取締役社長：安原 武志、略称：DAL、スタンダード市場：3848)は、2025年3月期から2027年3月期までの3ヶ年を対象とする中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。「個人と組織がともに成長し続ける DIGITAL WORK を実現する」をテーマに、中期経営計画の実行を通じて、持続的な成長と企業価値向上に向けた新たな一歩を踏み出します。

本計画では、今後起こりうる経営環境変化に能動的に対応すべく、安定的で成長力ある事業ポートフォリオを構築しながら資本効率向上と財務健全性維持の両立を図るとともに、株価及び株主資本コストを意識した経営を推進してまいります。

■背景

現代社会は、Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) の頭文字を取った VUCA (ブーカ) 時代と言われ、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代であり、グローバル化や国家・地域間の経済紛争、新型コロナウイルス感染拡大や政権交代、日々更新される IT やバイオの最新技術といった、さまざまな物事が目まぐるしく変化しています。企業が VUCA 時代を生き抜くためには、情報収集と分析の効率化・高度化が肝要であり、それらを実現するための IT 基盤づくりである DX 推進がキーファクターとなります。

当社は、このような環境の変化を踏まえ、個人と組織がともに成長し続ける DIGITAL WORK の実現をビジョンとした、中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）を策定しました。

■概要

- (1) 対象期間：2025年3月期から2027年3月期（3ヶ年）
- (2) ビジョン「個人と組織がともに成長し続ける DIGITAL WORK を実現する」

■事業戦略

- ・事業領域の拡大・開拓
- ・収益安定性の向上
- ・人的資本経営の推進

■計数計画

2027年3月期目標値は、以下のとおりです。

- ・総売上高：33億円
- ・リカーリング比率：80%
- ・EBITDA：7億円

※EBITDA＝営業利益＋償却費＋株式報酬費用

■財務方針

資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、株主還元の基本方針は変更せず、ROE目標値、配当下限額を新規に設定いたします。

(1) 資本コストを超えるROEの実現

2027年3月期目標値：15%以上

(2) 株主還元の安定化及び拡大

財務体質の強化と長期的な企業価値の向上をふまえ、株主資本配当率(DOE)3.5%を目安に長期的・安定的な配当の維持を目指します。

また、25円を配当下限額として、安定した配当を継続実施いたします。

なお、キャピタルアロケーションを策定の上、バランスシート見直しを通じて創出したキャッシュを、成長投資や財務健全化に振り向け、中長期的な企業価値の最大化に向けた好循環を構築してまいります。

詳細につきましては、下記をご参照ください。

※本資料には、将来の業績計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、現時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づき作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、様々な要因により事業計画とは大きく異なる結果となりえることを予めご承知おき下さい。

以上

中期経営計画(2025年3月期-2027年3月期)

個人と組織がともに成長し続けるDIGITAL WORKを実現する

2024年5月13日

株式会社データ・アプリケーション

証券コード：3848

2025年3月期を初年度とする3か年の中期経営計画を策定

事業戦略

DIGITAL WORKの実現と
当社の企業成長を両立すべく
三本の柱を設定

事業領域の拡大・開拓

収益安定性の向上

人的資本経営の推進

計数計画

業績伸長および重要事業戦略指標に加え
戦略的投資を実施の上で収益性を
正確にはかる指標を追加採用

	2027年3月期 目標値
総売上高	33億円
リカーリング比率	80%
EBITDA	7億円

※EBITDA = 営業利益 + 償却費 + 株式報酬費用

財務方針

資本コストや株価を意識しつつ
株主還元の基本方針は変更せず
ROE目標値、配当下限額を新規に設定

	毎期の水準
DOE	3.5%水準
配当下限額	25円
	2027年3月期 目標値
ROE	15%以上

全ての計数計画を達成も課題は残す

	2021年3月期 実績	目標値	2024年3月期 実績
総売上高	20億円	25億円	29億円
サブスクリプション 売上高	—	(2021年3月期実績比) 3倍	4倍超
営業利益	2.6億円	3.5億円	5.2億円

総売上高

特需要因での売上2億円
保守における割増（延長、二重）売上1.5億円
 実力ベースでは25.5億円（サブスク伸長が主要因）

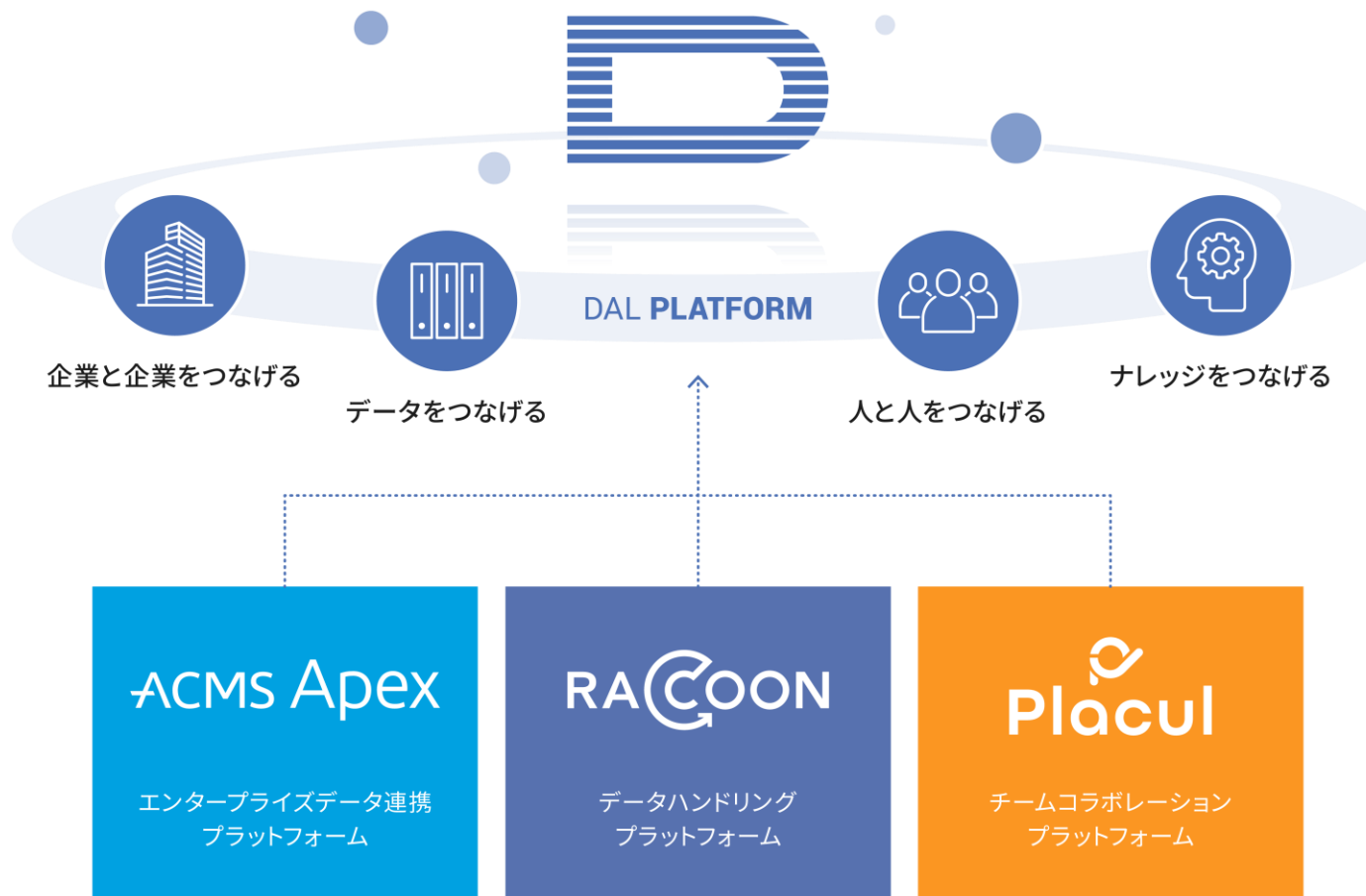
営業利益

新製品計画や増員計画の遅延に伴う
戦略的投資の後ろ倒しが大きく影響
反動により2025年3月期はコスト大幅増加

予測不能なVUCA（ブーカ）の時代：ダボス会議が提唱

		状況の把握	
		既知	未知
行動の予測	予測可能	V olatile 【 変動 】 市場や状況が急激に変化する時代	C omplex 【 複雑 】 複数の要素が絡み合う時代
	予測不能	U ncertain 【 不確実 】 予測が困難な時代	A mbiguous 【 曖昧 】 正確な情報に欠け、解釈が難しい時代

中期ビジョン：個人と組織がともに成長し続けるDIGITAL WORKを実現する



当社の事業成長を担う三本の柱

事業領域の拡大・開拓

データ連携市場の拡大

コラボレーション市場への進出

M&A・海外展開

収益安定性の向上

全ライセンスのサブスク化

サービス型ビジネスの拡充

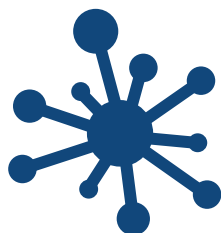
業務効率の向上

人的資本経営の推進

優秀な人材の獲得




人材育成の強化

ウェルビーイングの推進



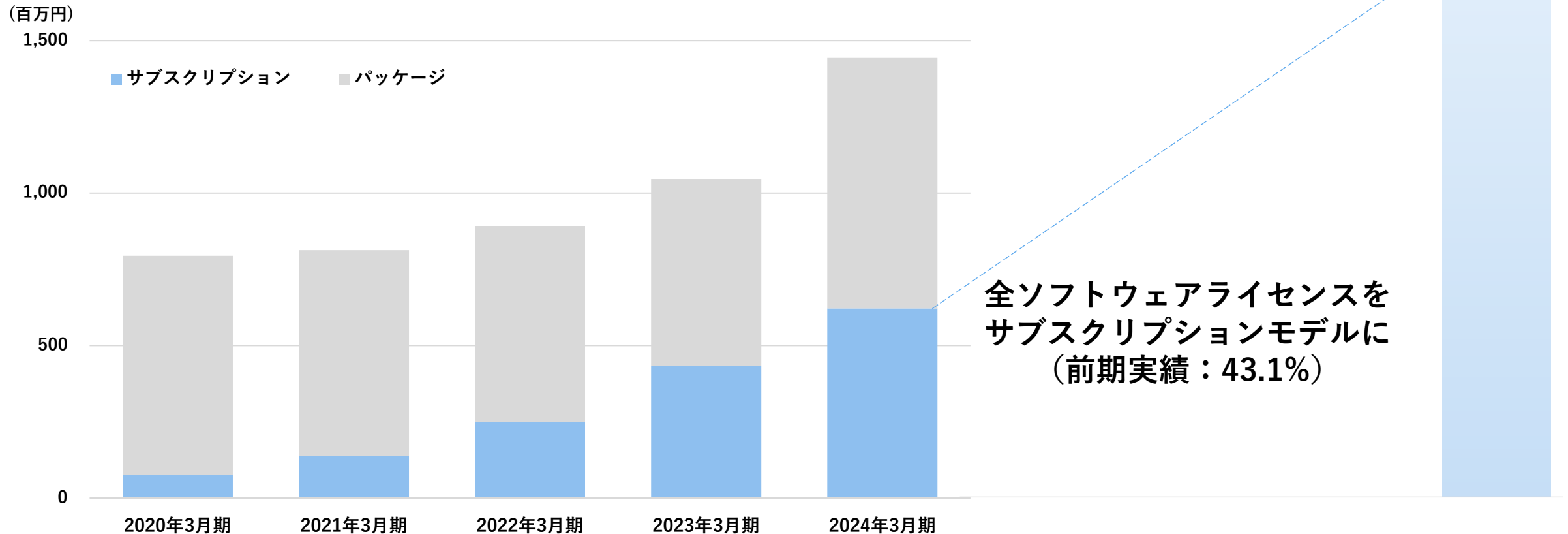
DIGITAL WORKの実現

事業戦略の三本の柱：事業領域の拡大・開拓

		市場・顧客	
		既存	新規
製品・サービス	新規	M & A（技術買収）	M & A（事業買収）
	既存	コラボレーション市場 + α への進出 	
			海外市場
		データ連携市場の拡大  	

事業戦略の三本の柱：収益安定性の向上

ソフトウェアライセンス売上推移



事業戦略の三本の柱：人的資本経営の推進

プロフェッショナルリティの4つのタイプ

エキスパート

(広範な知識と熟練した技能)

スペシャリスト

(特定分野に特化した知識と技能)

オペレーター

(要望を捉え着実に遂行する能力)

マネジメント

(組織を運営し
目的実現に導く能力)

×

DALが求める人物像

高いコミュニケーション力

変化に順応し楽しむ

クリエイティブ思考

失敗を恐れず挑戦する

制度の整備、タイプや人物像に合わせた環境の提供を通じて、人材の採用と成長を推進し、新たなDALを醸成

収益安定性の観点からサブスクリプションモデルでの売上に重きを置き
戦略的投資を実施の上で収益性を正確にはかるべくEBITDAを指標に設定

	2027年3月期 目標値	【参考】 2024年3月期実績
総売上高	33億円	29億円
リカーリング比率※1	80%以上	71.2%
EBITDA※2	7億円	7億円※3

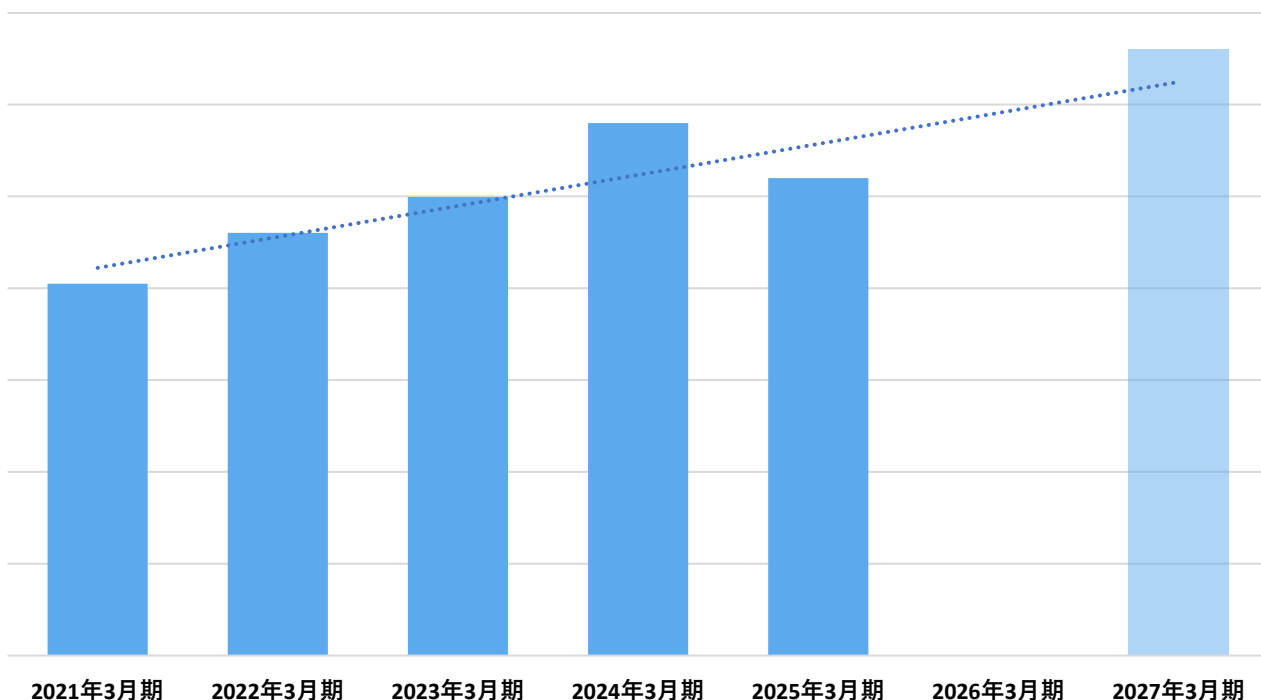
※1 リカーリング比率=(サブスクリプション売上+タームライセンス売上+メンテナンス売上)/総売上

※2 EBITDA=営業利益+償却費+株式報酬費用

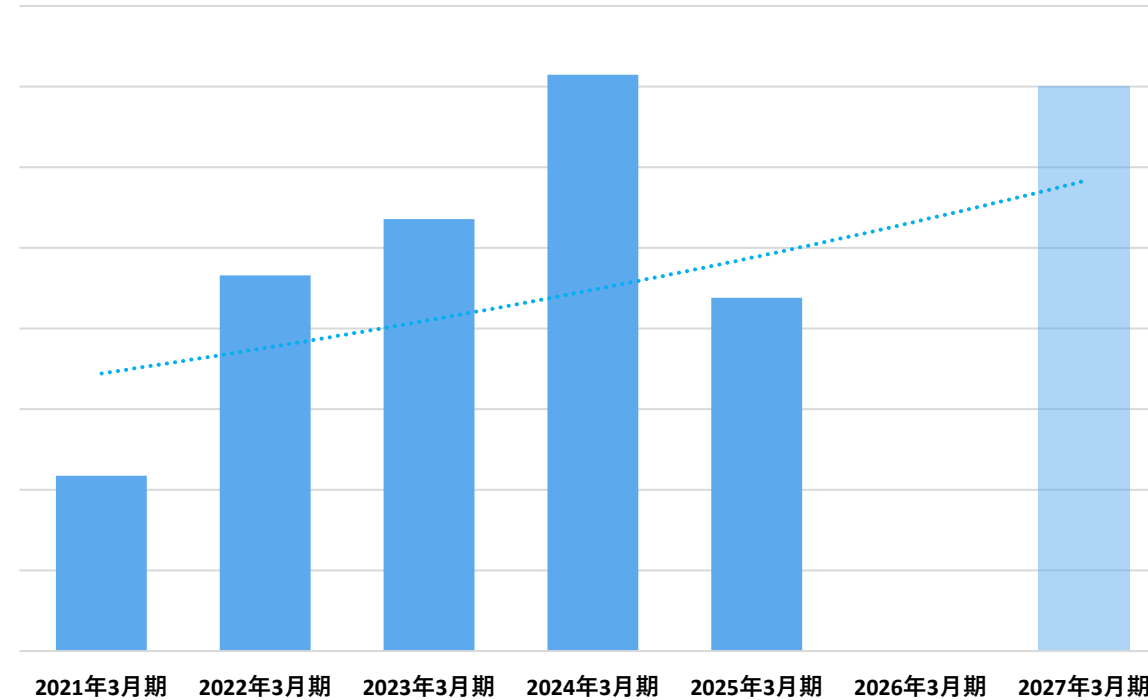
※3 2024年3月期は、移転に伴う旧オフィスの設備の割増償却(約1億)を含む

サブスクリプション型売上の比率を高めたながら売上高の拡大を目指すとともに成長への戦略的投資を推進することから利益指標をEBITDAへ変更

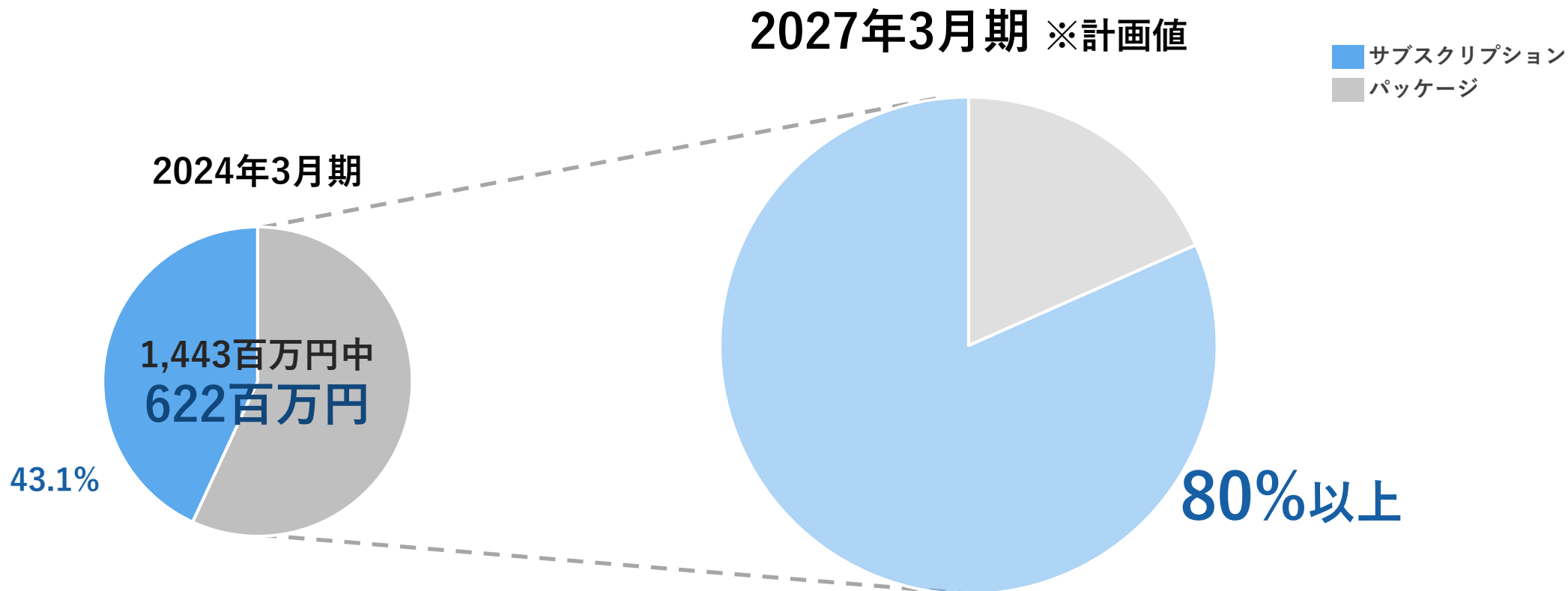
売上高



EBITDA



リカーリング比率目標達成に向けて サブスクリプション型売上の比率アップを目指す



資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、株主還元の基本方針は変更せず
ROE目標値、配当下限額を新規に設定

株主還元方針

株主資本配当率（DOE）3.5%
の水準を目途に実施

配当下限額 25円

優待制度の継続

ROE

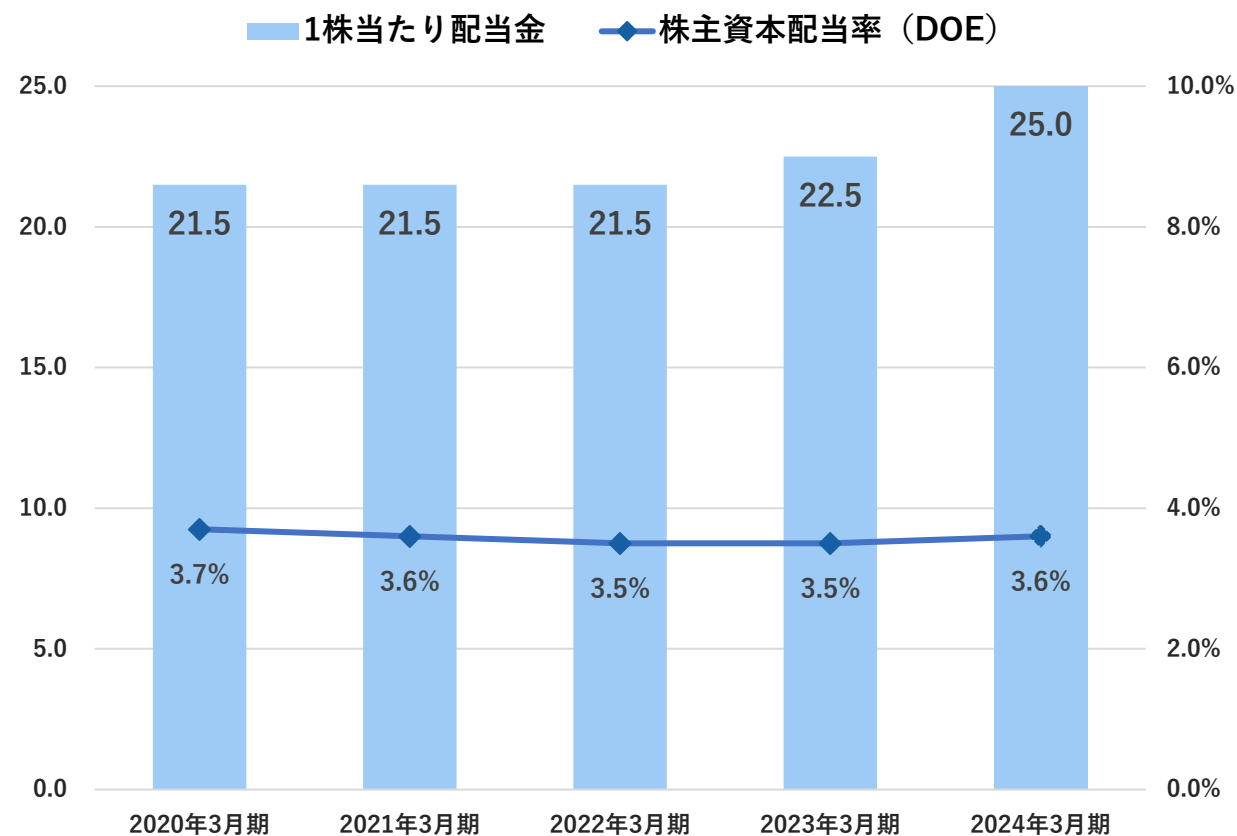
最終年度（2027年3月期）15%以上 を目標とする。

株主還元方針：配当に対する基本方針 ※従来の方針と同様

短期的な業績指標に基づくものではなく、財務体質の強化と長期的な企業価値の向上を踏まえたものでありたいという考えのもと、安定的・継続的な配当を実施

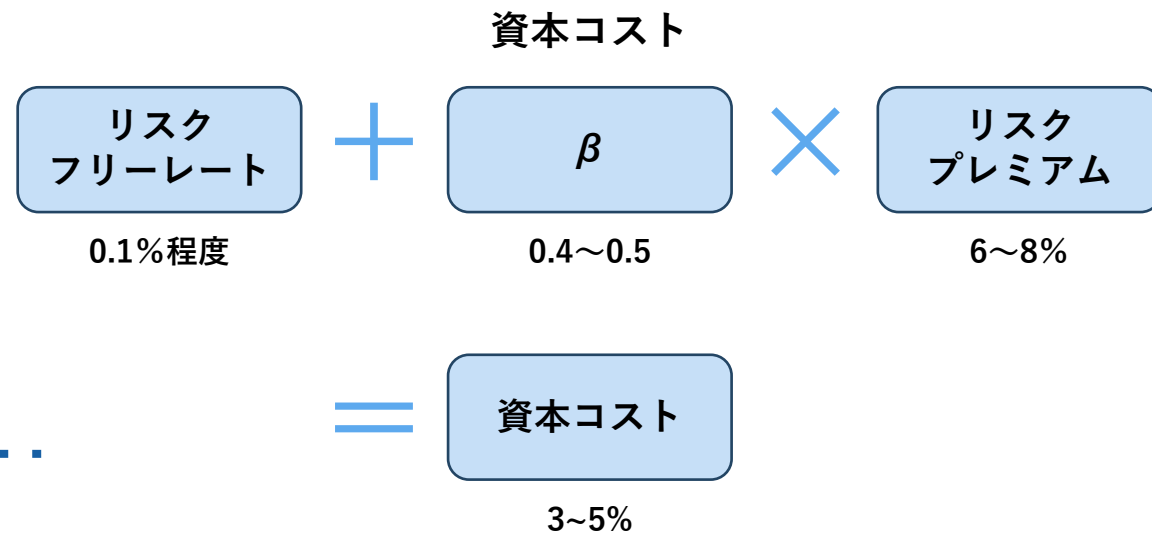
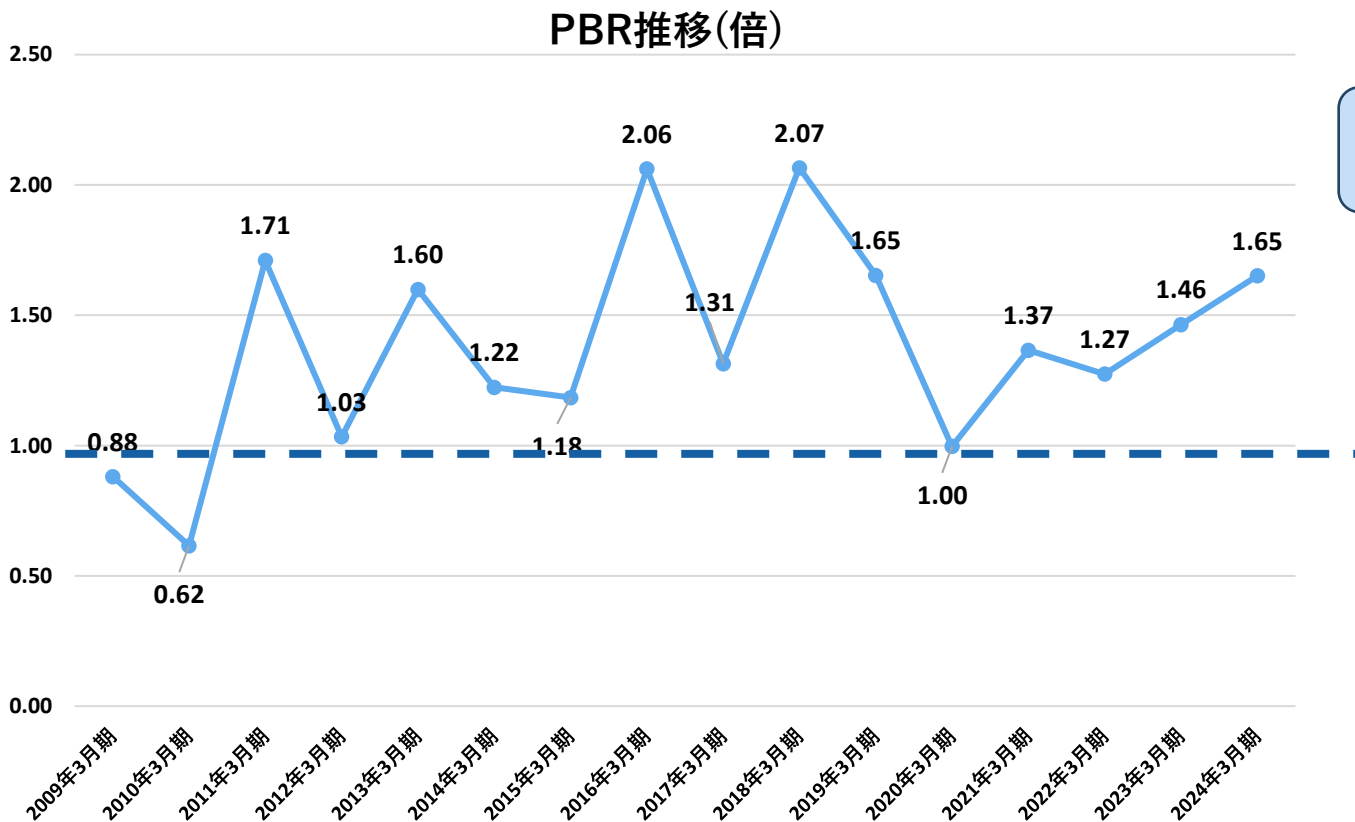
株主資本配当率（DOE）3.5%

配当下限額として 25円



企業価値向上についての認識

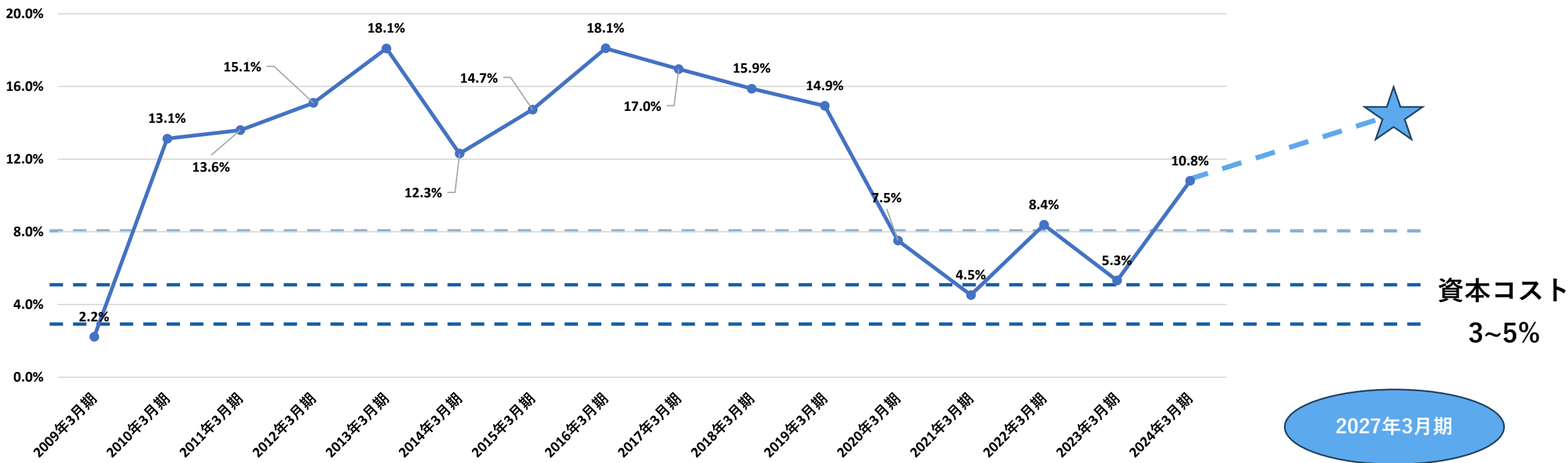
PBR1倍を割れる状況ではないが、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するため
資本コストを意識した経営に取り組む



企業価値向上のための目標ROE

現在のROE水準は資本コストを上回っているものの過去水準と比較し見劣りしているとの認識
 収益性の向上とバランス用途の効率化などを通し、資本コスト及び過去水準と同等のROEの実現を目指す

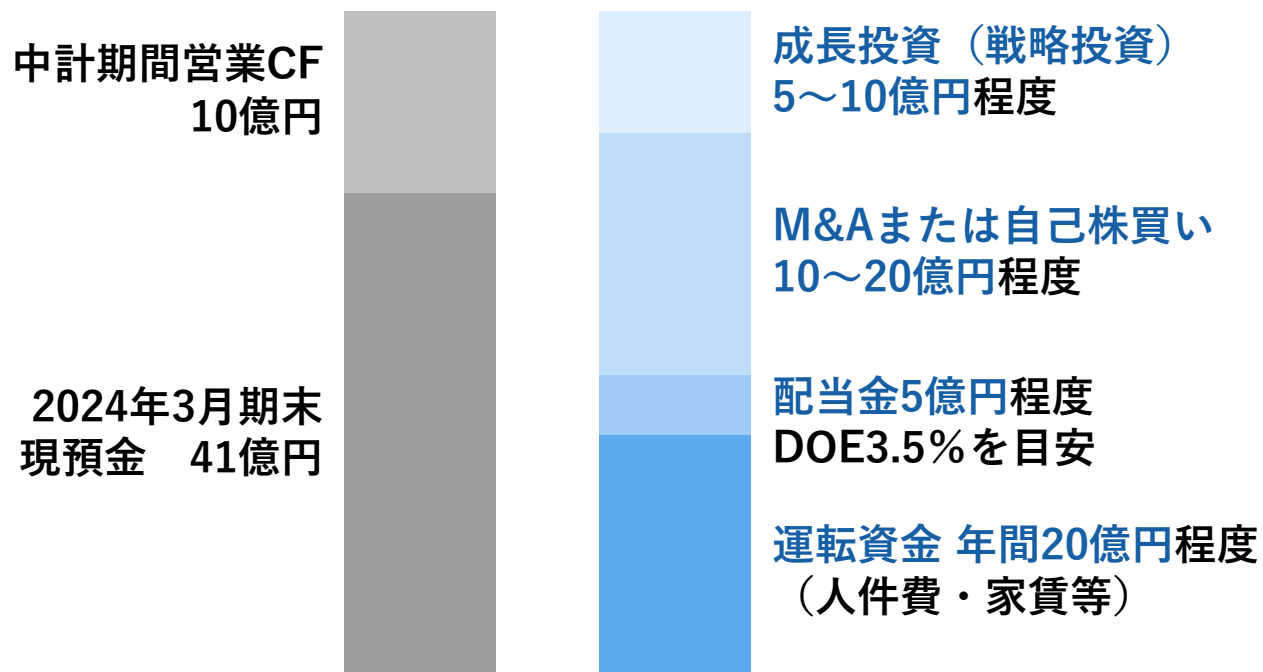
過去及び目標ROEと資本コスト



キャピタルアロケーション

事業運営に必要な現預金の水準を運転資金の水準より推定し、その水準を踏まえ
余剰現預金と本計画の営業CF見通しから、キャピタル・アロケーションを策定

キャピタルアロケーション方針 (2025年3月期～2027年3月期)



データと一緒にワクワクする未来へ。
Connect Data, Connect the World.

DATA



【IRに関するお問い合わせ先】



〒104-0028
東京都中央区八重洲2-2-1東京ミッドタウン八重洲
八重洲セントラルタワー27F
Phone 03-6370-0909
E-Mail ir@dal.co.jp



公式サイト



公式Facebook



公式X



公式YouTube



公式note

- ※ 現在、働き方改革の観点から、在宅勤務と出社のハイブリッド勤務推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。
- ※ 本資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ※ 投資を行う際は、当社が作成する有価証券報告書をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

・DAL、ACMS、ACMS Apex、E²X、WebFramer、RACCOON、AnyTran、OCRtran、Placulは、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標または登録商標です。
・その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。